



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月3日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL <https://www.artiza.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括本部経理財務部長 (氏名) 蕨沢 宏行 TEL 042-529-3494
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	3,344	48.3	789	148.9	779	207.4	575	161.2
2020年7月期第3四半期	2,255	50.1	317	-	253	-	220	-

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 597百万円 (126.6%) 2020年7月期第3四半期 263百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	68.36	67.79
2020年7月期第3四半期	27.00	26.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第3四半期	8,851	6,410	72.4	691.44
2020年7月期	6,005	4,076	67.8	491.81

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 6,410百万円 2020年7月期 4,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	-	0.00	-	6.00	6.00
2021年7月期	-	0.00	-	-	-
2021年7月期(予想)	-	-	-	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年7月期(予想)の配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 12円00銭

詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正（創立30周年記念配当）に関するお知らせ」をご確認ください。

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,024	24.5	789	79.9	775	93.8	538	22.5	62.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	9,562,000株	2020年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	291,070株	2020年7月期	1,281,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	8,416,131株	2020年7月期3Q	8,158,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の状況は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞から企業業績は改善しつつありますが、半導体製造分野等では依然としてその影響を受けており、改善のペースは緩やかなものとなっております。国内におきましても、再び一部地域に対する緊急事態宣言が発出されるなど、未だ収束時期の見通しが不透明な現状におきましては、予断を許さない状況が続いております。

移動体通信分野では、世界各国で第5世代移動通信方式(5G)の商用サービスが開始され、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においても2020年3月から一部のエリアで5Gの商用サービスが開始され、既存のLTE-Advanced及びLTE-Advanced Proのサービスに加え、5Gサービスの更なる進化に向けた研究開発が積極的に行われております。さらに今後は、自動車を始めとする様々な分野での5G活用に向けた研究開発や、ローカル5G領域での5Gネットワークの構築に向けた取り組みが積極的に行われていくものと思われまます。

固定通信分野では、企業向け及び家庭向け光ファイバの普及によるブロードバンドサービスが定着し、NetflixやAmazonプライム・ビデオ等のビデオストリーミングを中心としたデータトラフィックの急速な増加に加え、ネットワークの推進やクラウドサービスの高度化が急速に進んでおります。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、開発投資や設備投資の需要が見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争等によるサービスの低価格傾向は継続しており、通信業界全体の投資意欲に関しましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び国内外の政治経済の状況並びに業界内の動向を見極めつつ、引き続き慎重かつ選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売並びにテストサービスの受託
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の販売及び保守並びにテストサービスの受託
- (iii) 欧州、中国、韓国、インド、中東等の海外市場における5G及びLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発及び商材開拓並びに販売
- (v) ローカル5G等の通信分野における新事業に向けたマーケティング等

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 2,922,410千円(前年同期比67.5%増)

当セグメントの売上高は、2,922,410千円となりました。国内の移動体通信市場におきましては、大手通信事業者が一部エリアで5Gの商用サービスを開始し、5G向けの端末も発売される中、引き続き研究開発が積極的に行われております。当第3四半期連結累計期間におきましても、通信事業者及び基地局メーカーに5G対応製品の販売が順調に推移いたしました。また、前期より開始いたしました基地局メーカー向けのテストサービスにつきましても堅調に推移した結果、前年同期に対し、売上高が大幅に増加いたしました。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、5G向けの研究開発投資は、前期に引続き増加いたしました。LTE-Advanced Pro等の既存分野に対する研究開発投資が減少した結果、835,445千円の営業利益(前年同期比182.0%増)となりました。

(IPネットワークソリューション) 422,288千円(前年同期比17.4%減)

当セグメントの売上高は、422,288千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の既存製品、新製品の販売に加え、社外商材の販売をいたしました。前年同期より売上高が減少いたしました。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が減少したことに加え、研究開発費は前年同期比で同様に推移した結果、45,665千円の営業損失(前年同期は営業利益21,001千円)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高3,344,699千円(前年同期比48.3%増)、営業利益789,779千円(前年同期比148.9%増)、経常利益779,334千円(前年同期比207.4%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に固定資産の減損を計上し、当第3四半期連結会計期間末に繰延税金資産が減少したことに伴い法人税等調整額を21,836千円計上した結果、575,297千円(前年同期比161.2%増)となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う当社業績への影響につきましては、現時点で軽微であります。今後開示すべき重大な影響が見込まれる場合には、速やかに公表いたします。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,243,372千円であり、前連結会計年度末に比べ2,561,472千円増加いたしました。現金及び預金が2,877,129千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,608,607千円であり、前連結会計年度末に比べ284,731千円増加いたしました。投資有価証券が86,650千円減少した一方で、有形固定資産が387,354千円増加いたしました。テストサービスの事業拡大に向けて岩手県滝沢市にテレコムテストセンターを建設したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,898,982千円であり、前連結会計年度末に比べ289,259千円増加いたしました。支払手形及び買掛金が82,105千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が83,784千円、未払法人税等が167,626千円、賞与引当金が101,140千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は542,690千円であり、前連結会計年度末に比べ222,936千円増加いたしました。滝沢テレコムテストセンター建設のための長期借入金が増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,410,306千円であり、前連結会計年度末に比べ2,334,007千円増加いたしました。新株予約権の行使による自己株式の処分により資本剰余金が1,454,223千円増加し、自己株式が335,610千円減少したことに加え、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が525,611千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び最近の動向を踏まえ、2021年3月4日に公表いたしました予想を修正いたしました。

主力のモバイルネットワークソリューションの国内市場における5G向け製品の販売が引き続き好調に推移しており、売上高は前回予想を上回る増収を見込んでおります。

利益面では、上記に伴い当第3四半期連結累計期間において前回予想を上回りました。第4四半期連結会計期間において、翌事業年度に販売を予定する5G向け新製品の開発が本格化し、研究開発費が増加することから、通期予想につきましては、当第3四半期連結累計期間実績と同水準となるものと見込んでおります。

以上の結果、通期連結業績予想につきましては、売上高4,024百万円（前期比24.5%増）営業利益789百万円（前期比79.9%増）経常利益775百万円（前期比93.8%増）親会社株式に帰属する当期純利益538百万円（前期比22.5%増）となりました。

また、当社は、2020年12月27日をもちまして創立30周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜と心より感謝申し上げます。つきましては株主の皆様への感謝の意を表するため、2021年7月期の期末配当におきまして、1株当たり5円の記念配当を実施し、1株当たり配当金を17円とさせていただくことといたしました。詳細につきましては、本日発表の「配当予想の修正（創立30周年記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,958	5,776,087
受取手形及び売掛金	1,123,828	1,054,787
商品及び製品	506,782	306,123
仕掛品	21,235	58,109
原材料及び貯蔵品	93,163	37,640
その他	37,933	10,624
流動資産合計	4,681,900	7,243,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	220,456	614,400
工具、器具及び備品(純額)	278,848	272,257
土地	32,557	32,557
有形固定資産合計	531,861	919,216
無形固定資産	100,938	92,305
投資その他の資産		
投資有価証券	373,145	286,495
その他	317,930	310,590
投資その他の資産合計	691,075	597,085
固定資産合計	1,323,875	1,608,607
資産合計	6,005,775	8,851,980
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	291,214	209,108
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	165,864
未払法人税等	—	167,626
品質保証引当金	4,893	3,803
賞与引当金	35,468	136,608
その他	196,066	215,972
流動負債合計	1,609,722	1,898,982
固定負債		
長期借入金	294,160	518,816
資産除去債務	12,358	12,462
その他	13,235	11,412
固定負債合計	319,754	542,690
負債合計	1,929,476	2,441,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,673,926	3,128,149
利益剰余金	1,520,714	2,046,325
自己株式	△434,403	△98,793
株主資本合計	4,119,586	6,435,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,142	△33,833
為替換算調整勘定	4,221	9,108
その他の包括利益累計額合計	△46,920	△24,725
新株予約権	3,633	—
純資産合計	4,076,299	6,410,306
負債純資産合計	6,005,775	8,851,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	2,255,559	3,344,699
売上原価	927,600	1,120,909
売上総利益	1,327,959	2,223,789
販売費及び一般管理費	1,010,690	1,434,010
営業利益	317,268	789,779
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,914	2,872
その他	1,347	1,435
営業外収益合計	4,262	4,307
営業外費用		
支払利息	4,249	5,185
有価証券償還損	39,978	—
為替差損	19,091	2,258
支払手数料	4,600	7,303
その他	46	4
営業外費用合計	67,967	14,752
経常利益	253,563	779,334
特別損失		
減損損失	—	19,200
特別損失合計	—	19,200
税金等調整前四半期純利益	253,563	760,134
法人税、住民税及び事業税	2,200	163,000
法人税等調整額	31,129	21,836
法人税等合計	33,329	184,836
四半期純利益	220,233	575,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,233	575,297

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	220,233	575,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,208	17,308
為替換算調整勘定	△1,762	4,887
その他の包括利益合計	43,446	22,195
四半期包括利益	263,679	597,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,679	597,492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月6日付発行の第7回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）の行使による自己株式の処分を行いました。これにより、資本剰余金が1,454,223千円増加し、自己株式が335,610千円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は3,128,149千円、自己株式は△98,793千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,744,587	510,972	2,255,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,744,587	510,972	2,255,559
セグメント利益	296,266	21,001	317,268

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年8月1日 至 2021年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	2,922,410	422,288	3,344,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,922,410	422,288	3,344,699
セグメント利益又は損失（△）	835,445	△45,665	789,779

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。